

特定非営利活動法人 日本人材マネジメント協会のご紹介

Japan **S**ociety for
Human **R**esource **M**anagement

目次

- ▶ **特定非営利活動法人日本人材マネジメント協会(JSHRM)について**
- ▶ **沿革**
- ▶ **協会会員の特徴**
- ▶ **JSHRM活動参加にあたっての協会会員の心得**
- ▶ **JSHRMのビジョン**
- ▶ **事業紹介**
- ▶ **入会申し込み**
- ▶ **所在地**

特定非営利活動法人

日本人材マネジメント協会(JSHRM)について

- ▶「日本におけるHRMプロフェッショナリズムの確立」を使命として、我が国の人材マネジメントを担う方々のための会員組織として2000年に設立した「日本人材マネジメント協会」が母体
- ▶2018年4月、特定非営利活動法人として公益財団法人日本生産性本部から独立し、新たに活動をスタート
- ▶人材マネジメントに係る方々に向け、能力向上のための講座やイベント、人的ネットワークを活かした情報交換・相互交流の場の提供、グローバルな視点からの各種調査研究・社会提言・出版などの諸活動を展開
- ▶採用・配置・評価・処遇・人材開発・福利厚生・労働法などさまざまな切り口から人材マネジメントを追求
- ▶世界94国、66万人の会員で構成される世界連盟(WFPMA)の日本代表組織であり、地域別組織のアジア・パシフィック連盟(APFHRM)に所属し、最新のグローバルHRM情報を収集・提供

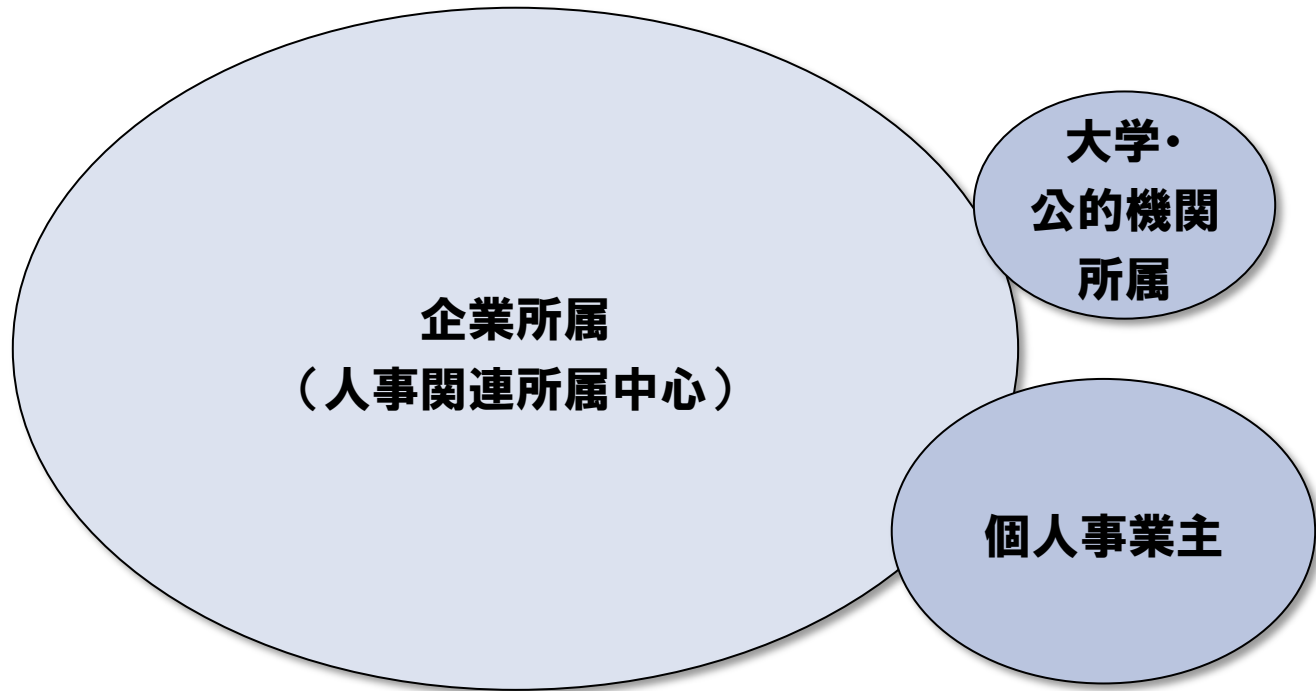
▶2020年9月1日現在

沿革

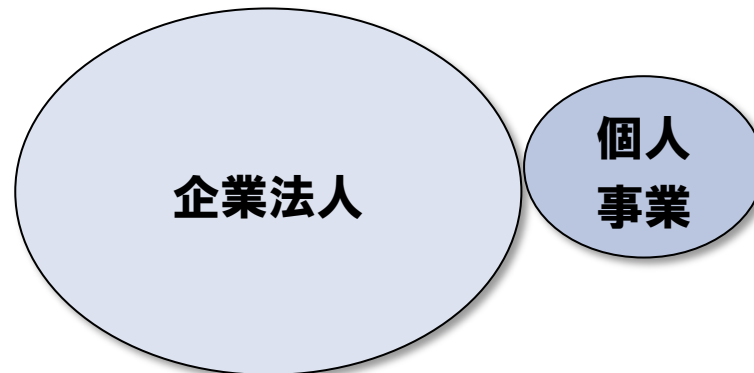
- 1999年 米国人材マネジメント協会の要請を受け、社会経済生産性本部（現、日本生産性本部）にて設立準備委員会開設
- 2000年 日本人材マネジメント協会(JSHRM)設立
総会・設立記念シンポジウム開催
HR Cafe開催開始
会報誌JSHRM Insightsの発行開始
- 2001年 JSHRM設立1周年記念コンファレンス開催
JSHRM監修書籍「ほめ上手のリーダーになれ！」発刊
- 2002年 人材マネジメント基礎講座開始
- 2003年 人材マネジメントアドバンス講座開始
- 2008年 書籍「人材マネジメント基礎講座」出版
- 2010年 JSHRMリサーチプロジェクト・シンポジウム開催
(2011年に2回目、2013年に3回目、2017年に4回目を実施)
- 2010年 JSHRM設立10周年記念コンファレンス開催
- 2015年 APFHRMスペシャルシンポジウム(東京)開催
- 2017年 会報誌JSHRM Insightsの電子化、ビジュアル化
- 2018年 特定非営利活動法人として独立し、活動開始

協会会員の特征(構成イメージ)

個人会員



団体会員



JSHRM活動参加にあたっての協会会員の心得

【1】（使命）

高潔な人格と高い倫理性の保持に努め、人材マネジメントに携わる専門職としての名誉と良識を保持し、その使命を達成します。

【2】（遵守）

協会設立の趣旨を認識し、法令、協会のルールおよび決議を遵守します。

【3】（自己啓発）

人材マネジメントに携わる専門職としての職責の重大性を認識し、常に自己の専門分野において高度の職業能力の研鑽に努めます。

【4】（相互利益）

協会が行う活動に相互に協調し、誠実にその実施に参加します。その際、著しく自らの不利益になるような場合を除き、可能な限りの情報・知識・経験などを互いに開示し、切磋琢磨を行います。

【5】（自主性の保持）

自主独立の精神を保持し、かりにも自己または第三者の利益を図り、あるいは特定人の要求に迎合することはいたしません。

【6】（地位の不正使用の禁止）

その地位を利用して、自己の利益に供したり、協会や他の協会会員に対して迷惑が及ぶような行為は行いません。

【7】（守秘義務）

その活動を通じて知り得た協会や他の協会会員の秘密およびその他情報を、正当な理由なく外部に漏洩、盗用いたしません。

JSHRMのビジョン

JSHRMは、人事のプロフェッショナルを育成し、その能力を発揮させ、社会に提案を行うため、3つのレイヤーにおいて活動を展開します。

人事界のオピニオンリーダーとして国内外社会から必要とされる存在

“そうだ、JSHRMにきいてみよう！”

人事のプロ（とその卵）が野心を実現できる場

“JSHRMだから出来る！”

未来のプロフェッショナルにとっての駆け込み寺

“迷ったらJSHRMへ行こう！”

事業紹介① 年次コンファレンス(1)

実施時期	テーマ
2000年 4月	21世紀の企業と人材を考える
2001年 7月	競争環境の変化とHRプロフェッショナルの役割
2002年 7月	日本を元気にする人材マネジメント
2003年 7月	会社の元気は人事が作る
2004年 7月	個と組織のこれからの関係
2005年 8月	人と組織の新たな関係を考える
2006年 7月	『働きたい会社』を考える
2007年 7月	ダイバーシティーマネジメント ～戦略的人材マネジメントの視点から考える～
2008年 7月	考える人事 ～成長と変革を支える人事のあり方～
2009年 7月	HRM ～Now & Next～
2010年 8月	あれから10年、これから10年 『人事のプロは何を目指す！』 ～経営とキャリアの視点から～

事業紹介① 年次コンファレンス(2)

実施時期	テーマ
2012年 2月	どうする？ 日本の人事 ～グローバル競争に勝つための変革とは～
2012年12月	人事の原点回帰 ～「社員の働きがい」からの再出発
2013年 8月	”温故知新” ～混迷する現在(いま)だからこそ考えるHRMの歴史的変遷～
2014年 9月	多様化する『働き易さ』と『働き甲斐』～日本の人事の再生～
2015年10月	進化しつづける人事プロ ～その原動力とは～
2016年10月	ダイバーシティ再考 ～わかっているつもり？ なぜ進まない？～
2017年10月	「働き方改革」を説く？ 解く！
2018年10月	人事の危機:人事と人事パーソンの未来 ～残念な人事／人事パーソンにならないために～
2019年10月	課題解決遊園地へようこそ ～成長し続ける組織と人事の役割～
2021年 2月	今考えるべき人事 次の一手

事業紹介② 人材マネジメント講座群

人材マネジメント 基礎講座 (オンライン)

- ▶ HRMプロフェッショナリズムの確立をめざす日本人材マネジメント協会のオリジナル講座
- ▶ 日本を代表する人事マネージャーの方々が人事スタッフとしての人事機能の基本を伝授
- ▶ 有力企業の事例研究など、実務上からのアプローチを重視
- ▶ 修了者には日本人材マネジメント協会から「HR初級資格」を授与
- ▶ 会期中1回の懇親会を通して受講生同士が交流(この他インフォーマルな会合を年数回実施)
- ▶ 講師陣による「講師会」を設置。講義内容と事前課題等を相互に共有する検討会を2013年より開催

人材マネジメント 特別集中講座

- ▶ 人材マネジメントの個別テーマを深く掘り下げ、プロとしての専門性を強化
- ▶ 講師による実践的・具体的実務知識提供、参加者の個別質問への回答
- ▶ 労務管理コンプライアンス、メンタルヘルス・ハラスメント、企業労働法実務入門採用実務など、多様なテーマで開催

人材マネジメント アドバンス講座

- ▶ 講師陣からの問題提起、関連情報や事例の提供
- ▶ 受講者どうしによるグループディスカッションと講師によるファシリテーションで人事課題に対する「考える力」を醸成
- ▶ ディスカッション結果を全体でシェアし、自社展開に向けたヒントを持ち帰り
- ▶ 修了者には日本人材マネジメント協会から「HRプロフェッショナル認定」を授与

※現在、講座見直し検討中

事業紹介③ 自主研究会、社会提言プロジェクト

自主研究会

- ▶ 協会会員が自発的にテーマを設けて立ち上げ、自助・自弁で運営する研究会
- ▶ 現在活動中の研究会：
 - ▶ 労働法研究会
 - ▶ WWN研究会（人事屋のWILL(意思)と人事を取り巻くWANTSとNEEDSを考える）
 - ▶ YSC研究会（Y ⇒ Young S ⇒ Share C ⇒ Career）
 - ▶ 戦略的人材マネジメント研究会
 - ▶ SHRMコンピテンシー研究会
 - ▶ 人事制度研究会
 - ▶ 「人が育つ組織」研究会
 - ▶ HRカフェ研究会
 - ▶ フェニックス研究会
 - ▶ People & HR tech研究会
 - ▶ (wLc)! 研究会（ワークライフキャリア研究会）
 - ▶ 若手人材育成研究会
 - ▶ グローバル人事研究会
 - ▶ 採用研究会
 - ▶ アカデミア・プラクティス研究会
 - ▶ 人事部改革研究会

リサーチ・プロジェクト

- ▶ 人材マネジメントの現代的な課題をテーマにとりあげ、HRプロの観点から実務的な解決策を開発し社会に提言することを目的とした活動
- ▶ 最近の活動概要：
 - ▶ ビジネスパーソンのキャリアについて、若年期(2010年)、ミドル期(2012年)、高齢期(2011年)の段階に分けて研究。高齢期に関する研究結果からツール開発を行い、セミナー(主催:JAVADA)を展開。2013年度からは「人事の役割」をテーマに活動。
 - ▶ 毎年、研究成果発表の場としてシンポジウムを開催。成果は同時に雑誌等にて公開

事業紹介④ 会報誌発信、その他

会報誌発信 (JSHRM Insights)

※2017年度下期より
Web掲載に切替

- ▶ 協会会員に対して定期的に発行している会報誌(電子版)
- ▶ 毎回テーマを設け取材記事や寄稿文を掲載、研究会活動や各種イベントを紹介
- ▶ 旬のトピックを中心に人材マネジメントに関する話題を幅広く紹介
- ▶ 最近取り上げたテーマ:
 - ・もう許されない「先送り体質」の昭和型組織
～組織全体で“全力で尻込み”する意思決定体質とは～
 - ・「分断」を越えた先に見える世界観とは?
～共生社会(組織)実現への壁～
 - ・ダークサイドから考えるこれからの組織、人事、キャリア
～キレイごとからは見えてこない真実～
 - ・人事部解体新書
～意外とわからない人事部の存在と実態とは～



その他の活動

- ▶ 特別セミナー
 - ▶ タイムリーな情報提供を目的として適宜企画、開催。
- ▶ JSHRM月例会
 - ▶ 2019年6月よりスタート。原則毎月開催、会員は無償。
 - ▶ 協会役員のほか、一般会員にも発表の機会を提供

参考：世界連盟（WFPMA）について

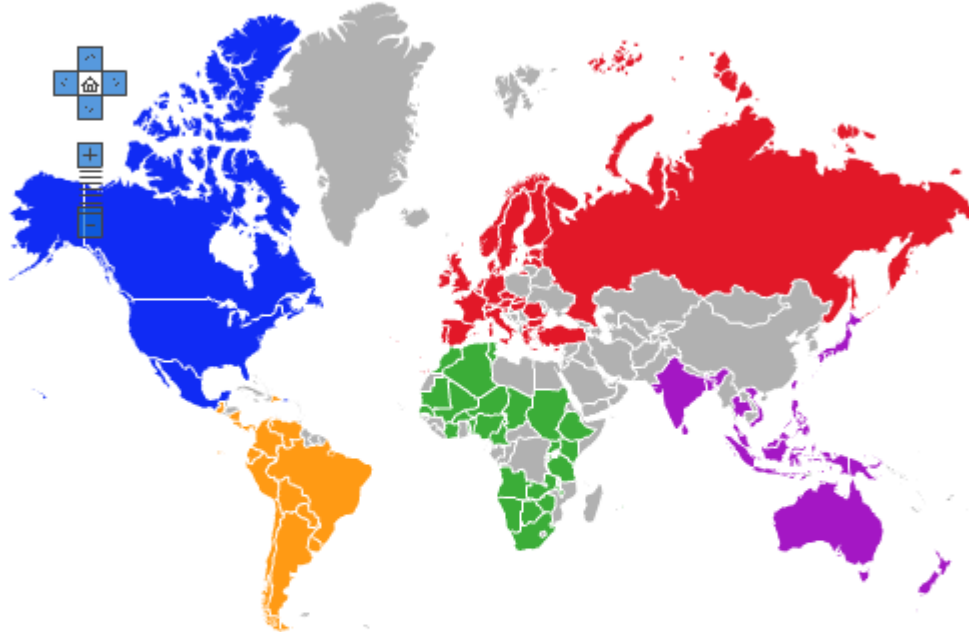
Members

Map

List

Interactive world map

Point your mouse to a country and click for information about the national HR association.



Click on regions key for information on regional federations



▶ 世界連盟は人材マネジメントの発展と向上を目的として1976年に設立(隔年「世界大会」を開催)

▶ 全世界で94か国の代表団体が構成され、会員数は合計で66万人

▶ 5つの地域組織に分かれており、JSHRMはアジアパシフィックの地域 (APFHRM) に属している

オーストラリア、バングラデシュ、フィジー、香港、インド、日本、マレーシア、モルジブ、ニュージーランド、パキスタン、パプアニューギニア、フィリピン、スリランカ、シンガポール、タイ、台湾、ベトナム

入会申し込み

協会会員の特典

- ◆協会会員限定の催しや研究会に参加できます（自主研究会等）。
- ◆協会主催のイベント・セミナーに協会会員価格で参加できます。
- ◆協会が協賛・協力する団体イベントに協会会員価格で参加できます。
- ◆季刊会報誌「インサイト (JSHRM Insights)」がバックナンバーを含め閲覧できます。
- ◆海外諸団体とのネットワークからのトレンド情報を閲覧できます。

※「お試し会員」制度があります。詳細は協会HPをご覧ください。事務局にお問合せ下さい。



★新規入会申込はこちら★

<http://www.jshrm.org/inquiry>

※協会会費免除、期間限定の「お試し会員」についてもこちらをご参照下さい。

協会会費

- ◆入会金：なし
- ◆協会会費（税込）：

【個人】	20,000円
【学生(社会人大学院含む)】	5,000円
【団体ライト】	50,000円（1口）
【団体】	100,000円（1口）

<初年度> 4～9月入会：全額
10～3月入会：半額
<2年目以降> 全額：4月一斉更新

- ※団体会員：代表1名、メンバー5名までの登録
- ※団体ライト会員：代表1名、メンバー2名までの登録
- ※有効期間の途中で退会の場合、会費の払い戻しはいたしかねますので予めご了承ください。
- ※協会会費入金を確認後、ログインIDおよびパスワードを登録メールアドレスにご連絡します。

所在地

〒102-8643

東京都千代田区平河町2-13-12

公益財団法人 日本生産性本部内

<https://www.jshrm.org/>

E-mail: info@jshrm.org

jshrm

日本人材マネジメント協会
Japan Society for
Human Resource Management

